

図書だより

図遊学館「よも～よ」 ☎582-5388

／ 今月のおすすめ ／

➤ 読書週間に読みたい本



一般書

■彼岸花が咲く島 李琴峰：著（文藝春秋）

彼岸花の咲き乱れる砂浜に倒れ、記憶を失っていた少女は、海の向こうから来たので宇実と名付けられた。その島では〈ニホン語〉と〈女語〉が話されていた。ノロが統治し、男女が違う言葉を学ぶ島で、ノロに憧れる島の少女・游娜と、〈女語〉を習得している少年・拓慈。そして宇実は、この島の深い歴史に導かれていく。第165回芥川賞受賞作品です。



一般書

■星落ちて、なお 澤田瞳子：著（文藝春秋）

不世出の絵師、河鍋曉斎が死んだ。残された娘のとも（暁翠）に対し、腹違いの兄・周三郎は事あるごとに難癖をつけてくる。暁斎の死によって、これまで河鍋家の中で辛うじて保たれていた均衡が崩れた。河鍋一門の行末は、とよの双肩にかかっているのだったが…。第165回直木賞受賞作品です。

掲示板

図生涯学習課 ☎582-2408

ふくしま駅伝 沿道での応援自粛のお知らせ

昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、沿道での応援について主催者より自粛するよう要請がありました。本町チームは、「敢闘賞」受賞を目標に、昨年より順位を上げられるよう頑張ります。選手の活躍に期待し、テレビやラジオで応援しましょう。

■日時 11月21日（日曜日）

■場所

▶スタート 7:40 しらかわカタールススポーツパーク（白河市総合運動公園）陸上競技場

▶フィニッシュ 12:40ごろ 福島県庁前 16区間95.0km



▲中高生が中心の若手チームです。応援よろしくお願いします

マルベリーこおり

図マルベリーこおり事務局 ☎582-3129

栗駒山トレッキング 紅葉の名所「神の絨毯」楽しむ

10月3日の「登山の日」に合わせて、町中央公民館共催の栗駒山トレッキングが行われ、17人が参加しました。

紅葉が見ごろとなったこの日は天候にも恵まれ、登山口までの道路は予想以上の人出で混雑しました。予定より1時間半遅れて行動開始。登山客の多さに戸惑いながらも、いわかがみ平登山口から山頂までの往復コースをゆっくりと楽しむことができました。全山紅葉している栗駒山の絶景を眺めて、久しぶりの解放感を満喫しました。



▲赤・黄・オレンジ色に染まり、「神の絨毯」と称される栗駒山。眼下に広がる絶景に、心癒す参加者の皆さん

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

旧伊達郡役所と大カヤ整備 歴史まちづくりの推進

町は、歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史まちづくりの推進、良好な町並みの整備を進めています。今年度は、4月から9月にかけて、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」と県指定天然記念物「万正寺の大カヤ」の周辺整備を行いました。

旧伊達郡役所では、老朽化していた門扉と周囲の柵を整備。町で保管する明治30年代の写真をもとに再現しました。門扉は全長約9mで、一番高い場所が約3mあります。材質は、ヒノキ材と鉄を使用。周囲の柵は、当時は天然の木材でしたが、人工木材を使用し、長期間の風雨にも耐えられるようにしました。

万正寺の大カヤでは、隣接する建物を解体し、大カヤを安全に見学・撮影できるよう広場の整備を行いました。また、解説看板やベンチを設置するほか、木の保護のため、支柱を増設しました。



1_ 明治30年代の写真をもとに再現した旧伊達郡役所の門扉と柵
2_ 解説看板やベンチなどを設置した万正寺の大カヤ



老後資金を考える お金に関する学習会

友達くらぶとかやのき学園の合同学習会「老後のお金と生活の知恵」が10月14日、桑折公民館で行われました。県金融広報アドバイザーの穴戸美香さんを講師に招き、人生100年時代、前向きに老後の生活を考えるコツを学びました。また、日本銀行福島支店の菊地美紗季さんからは、お札の偽造防止技術の話があり、参加者は、日本の印刷技術の高さに感心していました。1億円の現金の重さを体感するなど、楽しみながら老後のお金について考えました。



物語の世界へ おはなし会

「中央公民館おはなしの会」が10月8日、イコーゼを会場に、子育て支援センター事業「キッズひろば」で行われました。今回のテーマは「みんなで楽しく!」。ファミリー文庫「ホットケーキ」のメンバーが、しかけ絵本『ドアをあけたら』や絵本『あくしゅかい』を読むと、子どもたちは物語の世界に引き込まれていました。また、「静かな湖畔」の替え歌を絵本にした『ねばらねばなっとう』をリズムに合わせてみんなで歌い、楽しい時間を過ごしました。



勾玉づくり体験 キッズスクール

キッズスクールの勾玉づくり体験教室が9月26日、陸合公民館で行われました。県文化財センター白河館「まほろん」から講師を迎え、相馬福島道路開発に伴い、桑折町内の遺跡から出土された土器や石器などの実物を観察した後、勾玉づくりを体験しました。子どもたちは柔らかい滑石を丁寧に扱い、集中して取り組みました。作り始めて1時間、一人一人が思いを込めて磨き上げ、世界でひとつだけの勾玉を完成させることができました。